

**TO
BE!**

東北文教大学で
見つける、叶える。
なりたい自分へ進行中。





未来に
スイッチ
ON

特集

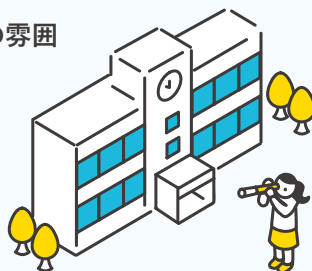
OPEN CAMPUS

TOHOKU BUNKYO COLLEGE, TOHOKU BUNKYO JUNIOR COLLEGE 2022

将来の自分を
見つけられるかも!?



東北文教大学生の生の声が聞けて、大学の雰囲気を感じられるオープンキャンパス。キャンパスツアーや学科企画など、学生スタッフがサポートしながら楽しくご紹介します。キャンパスライフがぐっとイメージしやすくなる体験型イベントです。



START!

キャンパスツアー

学生スタッフと一緒にキャンパス内をぐりと巡るツアー。学生目線で普通の大学生活の様子なども紹介しながら、講義や実習で使用する施設をご案内します。



私たちが案内します!

BREAK

ちょっとブレイク

2022年はキャンパス内にキッチンカーが登場。参加された高校生と保護者の方にオープンキャンパスオリジナルボトルのドリンクをプレゼントしました!



PLAN

学科企画



人間関係学科

幅広い分野
で活躍したい

企画1

- 学科説明
- 学生インタビュー

企画2 模擬授業

- 「人間関係とコミュニケーション」(グローバルコミュニケーションコース)
- 「個人と個人差」(心理総合コース)
- 「自分の価値観を知ろう」など(福祉マネジメントコース)



希望学科に分かれて、大学の学びを実際に体験できます。教員による講義や学生とのグループワーク、実技といった模擬授業など、学科の特色が感じられる企画を用意しています。



子ども教育学科

小学校教員 / 保育者
になりたい

企画1

アイスブレイク

企画2

卒業生インタビュー

- 「現役の小学校の先生(卒業生)との対談-授業づくりを中心に-
- 「現役の保育士(卒業生)が語る保育の魅力と本質」

企画3

模擬授業

- 「運動に関わる数字を比べてみよう」
- 「幼児の育ちを考える」など



子ども学科

保育者
になりたい

企画1

学生タイム

- 「子ども学科のリアルを伝えます!」
- 「実習で子どもと保育者から学んだこと」
- 「私たちが子ども学科を選んだ理由」など

企画2

模擬授業

- 「紙であそぼう! -子ども学科と造形遊び-
- 「“表現する”ってどんなこと? ~心で感じる、心が動く~」など



現代福祉学科

福祉専門職
を目指したい

企画1

- 学科説明
- 学生インタビュー

企画2 模擬授業

- 「シミュレーターでたん吸引を体験してみよう」
- 「高齢者の食事を考えよう」
- 「介護技術に触れてみよう」など



TALK

個別相談



入試や大学生活、進路支援などについてもっと詳しく知りたい方は、各学科の教員や入試広報センターの職員に個別にご相談いただけます。どんなことでも気軽にお聞きください。

CHECK

スケジュール



2023年
3/25(土)

気軽に
参加してね!



OPEN
CAMPUS



Let's SCAN

詳細はwebへ

教えて! LUNCH MENU

お気に入りランチ

TOHOKU BUNKYO

my BEST LUNCH

東北文教大学生は普段はどんなランチを楽しんでいるのでしょうか。
今回は8人の学生たちに「お気に入りランチ」を教えてくださいました。
手作り派?学食派?外食派?個性がわかる学生たちのランチ事情を
ちょっとのぞいてみませんか?



Pizza Filo
山形市香澄町1-20-8 大澤ビル 1F
TEL 023-676-6850
https://www.instagram.com/pizza_filo/

トマトとチーズが大好きで、このお店の「マルゲリータ」が一番好きです。ピザ窯で焼き上げたピザは生地がモチモチ!生ハムと半熟卵のピザや旬の野菜を使ったピザなどもあり、食べ比べも楽しいです。夢は保育士。「バレトン」というバレエ・フィットネス・ヨガ系のインストラクターの資格も持っているの、将来、子どもたちの運動遊びなどに活用したいです。

短期大学部 子ども学科 / 2年
阿部 柚晏さん
日本大学山形高等学校 出身



出来立てアツアツがたまらない!

Buono!

ピッツァフィロ
Pizza Filo の
マルゲリータ



手作り
ボリューム
お弁当

種類も豊富に
たくさん食べられるのが基本!

一人暮らしになって料理をするようになります。時間があるときはお弁当を作っています。定番のおかずは卵焼きとウィンナー。「こだわりはやっぱり詰めること」。部長を務めるバスケットボール部は練習もハードなので、たくさん食べることが元気の源です。将来の夢は小さい頃から憧れていた保育士。今は公務員保育士を目指し、公務員試験に向けて勉強中です。

人間科学部 子ども教育学科 / 3年
近野 蒼衣さん
山形県立酒田高等学校 出身



大好物の
ユーリンチー



ココロ
Sweets

思わずハマってしまう
おいしさー!

以前、ネットで話題になったユーリンチーを自分で作ってみたら、すごく美味しかったんです!学食のメニューにも月一くらいで出るようになってからは、いつも食べてますね。料理をするのが好きで、スイーツづくりも得意です。大学の勉強に、趣味の筋トレと栄養管理、スィミングスクールのコーチのアルバイトと充実した毎日を楽しんでいます。

人間科学部 人間関係学科 / 2年
鈴木 恭慶さん
東北文教大学山形城北高等学校 出身



good
Men!



学食の
日替わり
ラーメン

日替わりメニューが充実!
手軽でお財布にもやさしい

「美味しいよ!」と友達に勧められて学食を利用するようになってから、ラーメンやそばなどの麺類にハマっています!手軽に食べられる学食はすごく便利です。ときには、友達と河北町の肉そばを食べに行くことも。大学の先生や先輩・仲間は人を思いやり、尊重してくれる方々ばかり。よりコミュニケーション能力を磨き、異文化理解やコミュニケーションについての学びを深めたいです。

人間科学部 人間関係学科 / 2年
堀江 永陽さん
秋田県立横手清陵学院高等学校 出身



HUNGRY?

学食の
あぶら
そば



とろろり温玉が美味
ずるりと食べられます

中華麺に豚ひき肉や温泉卵などの具材がのった「あぶらそば」。スープがないので軽くスルスルッと食べられて、シンプルに美味しいですね。一緒に食べる友達がみんな「あぶらそば」を注文していることもあり、仲間内での人気メニューに!現在は小学校教師を目指し、実習や課題に前向きに取り組んでいます。子どもたちの目線に立った先生になることが目標です。

人間科学部 子ども教育学科 / 3年
佐藤 魁星さん
秋田県立能代高等学校 出身



学食の
日替わりランチ
アジフライ



Take
out

魚がふっくらしていて美味しい学食の「魚フライ」。量もちょうど良く、テイクアウトすることが多いです。友達と一緒に食べるランチはとっても楽しく、ほっとできる時間ですね。現在は、来年2月の「創作オペレッタ」の発表に向けて、ゼミ仲間とストーリーを考え、台本作りに奮闘中。将来は、子どもや保護者の方の気持ちに寄り添った保育者になりたいです。

短期大学部 子ども学科 / 2年
川上 碧海さん
山形県立鶴岡中央高等学校 出身



時短うどん
弁当



Speedy

電車通学で朝7:30前発の電車に乗るため、お弁当作りは「時短」がポイント!大好きなうどんにシソやトマトを刻んでのつけて、最後にうどんのつゆをかけて食べる「時短うどん弁当」が最近のお気に入りです。今は介護福祉士の国家試験に向けて勉強に励む日々。オープンキャンパスなどにもスタッフとして参加し、高校生に福祉の魅力を伝えていきたいです。

短期大学部 現代福祉学科 / 2年
鈴木 優惟さん
山形県立寒河江高等学校 出身



HOW TO MAKE...

彩り手作り
お弁当



一人暮らしをはじめて、今まで作ったことのないお弁当作りに挑戦。高校時代は母が毎日お弁当を作ってくれました。母が作るような甘い卵焼きが、お弁当の定番おかずになっています。小さい頃から高齢者の方と関わる中で介護の仕事がしたいと考えるように。2年次に実施される介護福祉士の国家試験に向けて、技術や知識をしっかりと身に付けていきたいです。

短期大学部 現代福祉学科 / 1年
後藤 桜さん
山形県立遊佐高等学校 出身



甘い
卵焼きが定番
彩りも考えてます



人間関係学科
副学科長・教授

阿部 裕美

ABE HIROMI

人生の選択肢を広げ
自分らしさが
発揮できる未来へ

教員プロフィール／東北文教大学 人間科学部 人間関係学科 副学科長、教授。弘前大学人文学部卒業、東北大学大学院文学研究科博士課程前期修了。専門分野は英文学、ジェンダー学。研究課題に「スコットランド啓蒙主義と感性」「ジェンダー・ギャップにおける思考傾向」などがあり、「英語I・II」「異文化論I・II」「異文化演習」の授業を担当。

“自分”を考えることが
社会のあり方にリンクしていく

小林／先生のご専門の一つである「ジェンダー学」とはどのようなものですか。

阿部／ものの考え方として男性・女性を基準として性別を分類する二元論的な考えが依然としてある中で、LGBTQといった性別認識の多様性がいま人々の意識にも、社会の体制の中にも浸透しつつあります。しかしながら、現実としてはそう簡単に変わるものではありません。頑固に変わらない部分を取り上げ、なぜ考え方が変わらないのかを精査していく学問だと考えていますし、社会学や社会心理学に通じる側面もあると思いますね。

小林／ジェンダー学の意義や面白さはどんなところにあると思われますか。

阿部／ジェンダー学は特別なものではなく、実はとても身近なテーマを扱います。ジェンダーについて考えることは、結局は“自分らしさ”を考えること。その自分らしさの一つの着目点が、性別であったりしますから。自分らしさについて考え、それ

を突き詰めていくと結果的に社会のあり方に必ずリンクしていく。そういった意外なつながりを発見することや、思いもよらないところへ問題が拡散していくというも結構面白いかもしれませんね。

自分の身近なところに
目を向ける姿勢を意識して

小林／学生が理解を深められるように授業ではどのような工夫を行っていますか。

阿部／教科書的な考え方をただ授業で紹介して終わりにするのではなく、それがいかに自分の日常に深くかわっているかに気づいてもらえるよう腐心しています。例えばある授業では、普段小学生が見ているようなテレビアニメを学生と一緒に見るんです。小さい頃に見たことがあるアニメでも、分析の目線で見ると新たに覚えてくることも。自分の身近なところで着目すべき点に気づいてもらい、それを分析するためには理論の理解も大切であることを伝え、理論と現実、双

方から学びを深めています。

小林／ジェンダー学を学び身に付けた力を、私たち学生は将来どのように活かすことができるでしょうか。

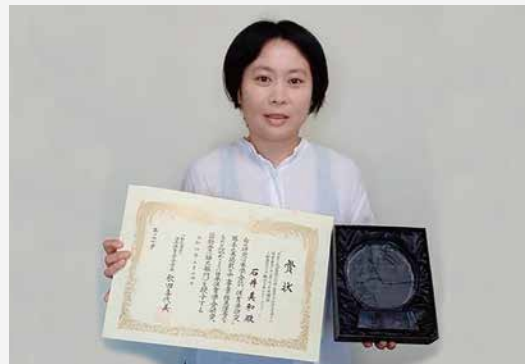
阿部／人生の選択肢の幅が増えると思います。自分が深刻な問題に直面したときでも、世の中は常に変化していくもの、人の考えは変わっていくものと理解し、いろんな選択肢があることを知っていれば人生を先に進めることができるでしょう。さらに、展望する力や先を見越す力を持てるようになれば、社会で働き、生活していく上での大きな力になります。多くの学びの中から自分らしさを発揮できるスキルを見つけてほしいですね。大変な世の中を生き抜く助けとなるように、自分のために学んでもらいたいと願っています。



NOTICE BOARD



石井美和准教授が「日本保育学会
研究奨励賞(論文部門)」を受賞



子ども学科の石井美和准教授の論文「子育て支援実践の形成・変容のプロセスを通した保育者アイデンティティの再構築・制度ロジック概念を手がかりとして-」(日本保育学会『保育学研究』2021年)が「日本保育学会研究奨励賞(論文部門)」を受賞しました。

石井准教授から
のコメント

「教育と研究の両立は大変ですが、これからも頑張ります。」



高校生・保護者の方を対象に
LINE個別相談会開催中



本学では、LINEを使った個別相談会を開催中です。祝日を除く毎週月～金曜日の午後4時～午後6時の日程で実施しています。入試広報センターのスタッフが主に高校生・保護者の方を対象に、本学の学部・学科の特色の説明や、入試・進学に関する相談・受付を行っています。どなたでも参加可能ですので、ぜひご利用ください。参加方法はLINEで“東北文教大学”と友だちになり、トーク画面から質問をお送りください。

さらに、オープンキャンパス等のイベントや進学相談会、出願に関するお知らせも配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



情報満載！
Instagramを始めました



Instagramに東北文教大学のアカウントができました。ここでしか見ることができない情報が満載です。ぜひご覧ください。フォローと♡もよろしくお願いします！



TOHOKUBUNKYOCOLLEGE



個人・団体での大学見学を
随時受付中



本学では、オープンキャンパス以外の日でも、個人・団体(学年やクラス単位でも可)での大学見学を随時受け付けています。見学の内容は学科説明・模擬授業・キャンパスツアーなど、ご希望に応じて実施いたします。5月～8月で、4つの中学校、6つの高等学校のみなさんが見学に来てくれました。また、「東北文教大学の雰囲気を自分の目で確かめたい」という受験生や保護者の皆さんも、ぜひ大学見学へお越しください。詳しくは入試広報センターまで、お気軽にご相談ください。

【入試広報センター】

TEL:023-688-2296/E-mail:GO@t-bunkyo.ac.jp





どんなときも
子どもを一番に
考えられる保育者へ

SUGAHARA MOE 菅原 萌さん

社会福祉法人敬愛信の会かほくあいこども園

小さい頃から子どもが好きで、子どもと関わる仕事がしたいと漠然と思っていた。高校生のときに一番末のいこが生まれ、その関わりの中で保育士になりたいと強く思うようになった。

現在は河北町のかほくあいこども園に勤務。主幹保育教諭として職員をサポートやアドバイス、保育の計画づくりなどに関わり、保育の質の向上をはかることが主な仕事です。保育士は早番や遅番などがあり大変な面もありますが、そんなときに思い出すのは短大時代の担任の言葉。「大変な仕事も、逆の発想でポジティブに考えれば吉にはならない。誰よりも早く園に入って一番に窓を開け、その最初の空気を吸えるのは自分だけ。それが早番の楽しみ」と。どんな仕事にも応用できる、私の支えとなっている言葉です。

保育士として働く中で大きな転機となったのが、社会福祉法人敬愛信の会東根市立東部こども園の園長先生との出会い。保育の仕事は計画通りに進めるためには子どもへの関わりよりも保育士が動きやすいスケジュールリングになつてしまうことも。でも、そうではなくて、やっぱり子どもが一番というのを教えてくださったのが園長先生。子どもが経験したがつていえることをよく見て、計画通りに進まなかったとしても違った反応を面白がり、子どもにとってすごいと捉えられる保育者、それが保育の楽しみ。そこから私の子どもへの関わり方は180度変わりましたね。

大きな飛躍ではないけれども、子どもたちがちよつとずつ経験を積み重ねて成長していく、その過程に携われることが保育士としてすごく幸せです。今はコロナ禍で母親同士のつながりを持っていない現状があります。自分自身の出産・育児の中で人となが大切さを身をもって感じました。今後は保護者をつなぐ橋渡しのような存在に自分がなれたらと思っています。

私の HISTORY

プロフィール
1983年生まれ。山形市立商業高等学校出身。2004年山形短期大学(現 東北文教大学短期大学部)幼児教育科卒業。山形市、東根市の保育施設での経験を経て、2022年からかほくあいこども園の主幹保育教諭。

1年次

保育士を目指して山形短期大学に入学

2年次

研究発表で子どもの発達に合ったダンスの振り付けや曲を考え、仲間と試行錯誤した日々は大きな財産に

卒業後

山形市内保育施設に就職
社会福祉法人敬愛信の会東根市立東部こども園に再就職し、子どもが主体の保育の大切さに気づく

31歳

ここがターニング Point!



子どもへの関わり方が180度変わりました

37歳

2人目出産後の育休中にベビーマザーシジの資格を取得。子どもだけでなく保護者の思いに込められる保育者を目指すように

現在

主幹保育教諭として園全体を見守りながら、後輩の育成も。ゲストスピーカーとして保育士の経験を学生に伝えるなど、保育士育成にも力を注ぐ